

CeMI北海道 ホームページ開設! 有珠山噴火10周年フォーラム および現地研修会を行いました!



当機構は、地域や住民が受ける自然災害・環境劣化被害の軽減をめざし、安全・安心で豊かな地域社会の形成に寄与することを目指しています。



CeMI 北海道ニュースレター Vol.8

2010年5月27日発行

編集・発行(事務局) /
NPO法人 環境防災研究機構 北海道

〒060-0001
札幌市中央区北1条西8丁目2-39
日宝大通ビル8F

Tel. (011)271-2663
E-Mail: north@npo-cemi.com

CeMI北海道のホームページを開設しました!!



CeMI北海道のホームページを開設しました。

ホームページのトップには、イベントや広報などのお知らせを掲載しており、いつでも新しいイベント情報入手できるようになりました。また、活動を紹介するページでは、地域別、災害別、内容別に絞り込んで閲覧することができます。さらに、正しい防災を理解してもらうための「防災を学ぼう」というコンテンツでは、理事の方が、子どもにもわかるように災害や防災についてわかりやすく解説しています。今後、さらに内容を充実させて更新していく予定です。

下のアドレスに一度アクセスしてみてください。

<http://www.cemihokkaido.com/>



遊びに
きてね!



有珠山噴火 10 周年・100 周年事業

2000 年有珠山噴火 10 周年フォーラム開催！

2000 年有珠山噴火から 10 年目を迎えるにあたり、当時の防災対応を検証し、次の噴火へのあり方や備えについて考え、発信することをテーマとした記念フォーラムを開催しました。

日時：平成 22 年 3 月 27 日（土）18:00～

会場：伊達市カルチャーセンター

ハーバーホール

プログラム

【第 1 部：基調講演】

『火山と防災 ～情報を防災に生かす～』

講師 山崎 登：NHK 解説副委員長

(当時 社会部災害班デスク)

【第 2 部：パネルディスカッション】

『2000 年噴火の初動対応を検証し、
次の噴火に備える』

～ コーディネータ ～

山崎 登：NHK 解説副委員長

(当時 社会部災害班デスク)

～ パネラー ～

関 克己：北海道開発局長

(当時 内閣官房内閣審議官)

福井史雄：気象庁札幌管区気象台技術部

火山防災情報調整官

岡田 弘：北海道大学名誉教授

菊谷秀吉：伊達市長

基調講演

2000 年噴火当時、社会部災害班デスクであった山崎登 NHK 解説副委員長が、噴火発生前の緊急火山情報発表や国の現地災害対策本部

設立による機関連携体制の確立など、2000 年噴火時の防災対応の特徴について挙げながら、火山と防災情報について講演を行いました。また、阪神淡路大震災の取材体験から、「風呂の残り湯をとっておく」、「懐中電灯・スリッパを枕元に常備しておく」など、思いついたことを日頃から一つでもやっておくことが防災対策になると強調されました。



パネルディスカッション

山崎 NHK 解説副委員長の進行のもと、関克己北海道開発局長、札幌管区気象台・福井史雄火山防災情報調整官、岡田弘北大名誉教授、菊谷秀吉伊達市長の 4 名が、2000 年噴火当時の防災対応を検証しつつ、次期噴火対策について話し合いました。



「2000 年噴火では住民避難が成功し 1 人の犠牲者も出さずに済んだが、次回も同様にうまくという考えは改めるべきである」、「次期噴火に向け、大学や気象台では地元住民と共に研究者を育成する仕組みづくりが必要」、「広域連携で避難所の防災備品を確保できないか」といった意見が挙げられました。

有珠山噴火 10 周年・100 周年事業とは？

今年是有珠山 2000 年噴火から 10 年目、1910 年噴火から 100 年目にあたる節目の年です。これは、時間経過とともに薄れつつある記憶から当時の体験や教訓を呼び起こし、それを地域で共有しながら火山防災について改めて考える貴重な機会となります。

地元住民、科学者、行政、防災関係機関、マスメディアなど、あらゆる立場から噴火当時を振り返り、伝えるとともに、そこから学び次期噴火から地域を守るための街づくりや次世代の人材育成の契機とすることを目的として、今年一年、様々なイベントを開催する予定です。



有珠山噴火 10 周年・100 周年事業

有珠山現地研修会 ～専門家と共に歩き学ぶ「有珠火山」～

現地研修会は、関係機関や自治体、報道の方々に参加し、岡田弘理事、宇井忠英理事による解説のもと、旧とうやこ幼稚園から西新山沼口までの遊歩道、さらには立入規制区域に立ち入りながら、2000 年噴火を学びました。

時折降る雪や足場の悪い中での現地研修会でしたが、2000 年噴火の様子をよく知る報道の方々は、当時との変化に驚きながら熱心に解説者の話を聞いていました。

日時：平成 22 年 3 月 28 日（日）10:30 ～ 14:15



有珠山噴火 10 周年・100 周年事業

「有珠山噴火と災害報道」

～有珠山噴火をテレビ・ラジオ報道は、どう伝えたか～

現地研修会の後、壮瞥町地域交流センター山美湖で報道機関からの報告会が開催されました。

報告会の第一部として、当時の映像の発表とその映像の紹介を報道機関の方にいただき、第二部は松尾一郎理事によるコーディネータのもと報道機関の方とのパネルディスカッションを行いました。

この報告会では、2000 年噴火当時の映像を振り返り、出来たこと・出来なかったことなどを報道機関の方と討論し、次の噴火における減災情報のあり方について考えました。

日時：平成 22 年 3 月 28 日（日）15:00 ～ 17:30

会場：壮瞥町地域交流センター 山美湖

プログラム

【第 1 部：映像報告】

『2000 年噴火時のテレビ報道を見る』

映像提供機関：NHK HBC STV HTB UHB TVh

【第 2 部：パネルディスカッション】

『噴火・災害をどう伝えたか、
次に向けて必要なこと』

～ コーディネータ ～

松尾 一郎

(NPO 法人 環境防災総合政策研究機構 理事)

～ パネラー ～

橋爪 尚泰 (NHK 報道部副部長)

岡田 徹也 (HBC 報道局報道部デスク)

金子 長雄 (STV 報道制作局報道部副部長)

後藤 雄也 (HTB 報道部デスク)

小田 学 (UHB 報道部社会デスク)



会員状況

- ◇ 特別正会員 15名
- ◇ 正会員 32名
- ◇ 賛助会員 24名 (5月17日現在)



会員募集

CeMI 北海道では、地域と一緒に活動していただける個人正会員、法人賛助会員を募集致しております。詳しくは、事務局までお問い合わせください。